

令和元年 11 月 6 日 (水曜日)

自民党の足立敏之参院議員は5日の国土交通委員会で、多発する自然災害を踏まえ今後のインフラ整備について質問した。写真。台風19号をはじめ大規模な水害を受け、原形復旧ではなく改良復旧が重要と指摘。

参院議員 足立 公共事業予算の確保必要 参院国交委で質疑 国土強靱化拡充を



自民党の足立敏之参院議員は5日の国土交通委員会で、多発する自然災害を踏まえ今後のインフラ整備について質問した。写真。台風19号をはじめ大規模な水害を受け、原形復旧ではなく改良復旧が重要と指摘。

2019年度の補正予算の編成だけでなく、防災・減災、「国土強靱化のための3か年緊急対策」（18〜20年度）の見直しも加え、取り組みを拡充して大幅な公共事業予算の確保が必要だと訴えた。

足立氏は事前の河川改修が効果を発揮して被害が軽減された事例や、試験湛水中だった八ツ場ダムが果たした効果などを説明。災害復旧について「災害前の状況に戻す原形復旧ではなく、災害に備えて機能を強化する改良復旧が極めて重要だ」と指摘した。地球温暖化に伴い激甚化する水害に備え、浸水域管理の必要性も訴えた。

予算に関し足立氏は短期、中期、長期の三つの視点に基づき自らの見解を披露した。短期的（19年度）には「災害復旧のため、被災者が安心できるような大型できめ細かい補正予算の編成が必要だ」と語った。

中期的には3か年緊急対策の見直しが必要だとし、「延長措置や規模拡大、あるいは新しい緊急対策の策定といった対応が不可欠」との考えを示した。

長期的には気候変動の影響などにより災害リスクが高まる中、防災・減災、国土強靱化の取り組みを拡充し、「5か年や10か年の長期的な計画に基づく大規模な公共事業予算の確保が必要だと考えている」と述べた。

予算確保について答弁した赤羽一嘉国土交通相は「元に戻すのではなく抜本的な対策を取らなければいけないというのが、被災自治体の首長の共通した思いだ。被災地の側に立って、補正を含め予算確保にしっかり取り組む。被災者の気持ちに合った予算編成を進めていきたい」と応じた。